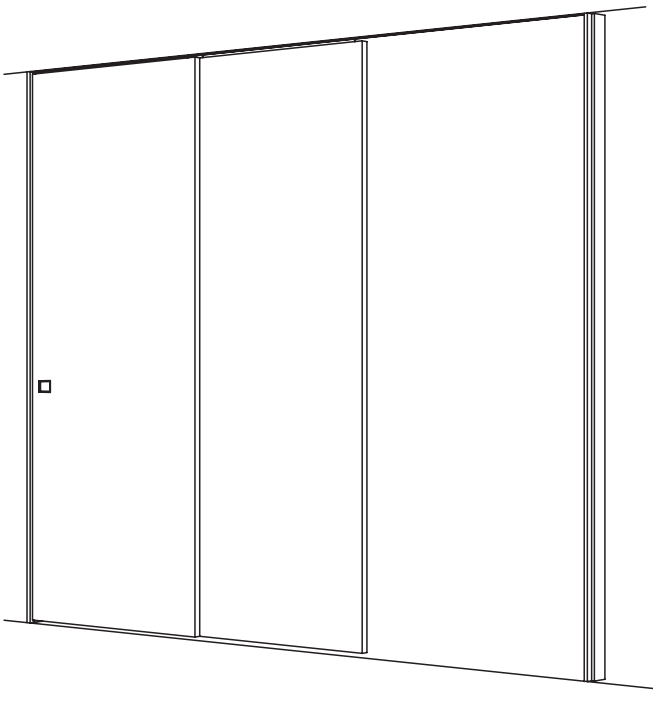
sanwa company

22-00707M-00

Porletta

ポルレッタ施工・取扱説明書

《2枚引き込み戸・3枚引き込み戸》



●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
●この説明書は保証書を兼用しています。大切に保管してください。
●『本製品』に関するお問い合せは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品は、サイズやカラーのバリエーションを幅広く取り揃えたシンプルデザインの引き込み戸です。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

ポルレッタ　2枚引き込み戸／3枚引き込み戸

sanwa company

施工説明書

■施工前に、この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
■この説明書には、取扱説明書および保証書が掲載されています。施工後は必ずお施主様にお渡しください。

1 施工上のご注意

安全に施工し、また安全に使用していただくために、下記事項を必ずお守りください。

●本商品は室内専用です。
屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。

●枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。

●枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。
やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。

●枠の組立てには、同梱のねじを使用してください。
他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。

●扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。

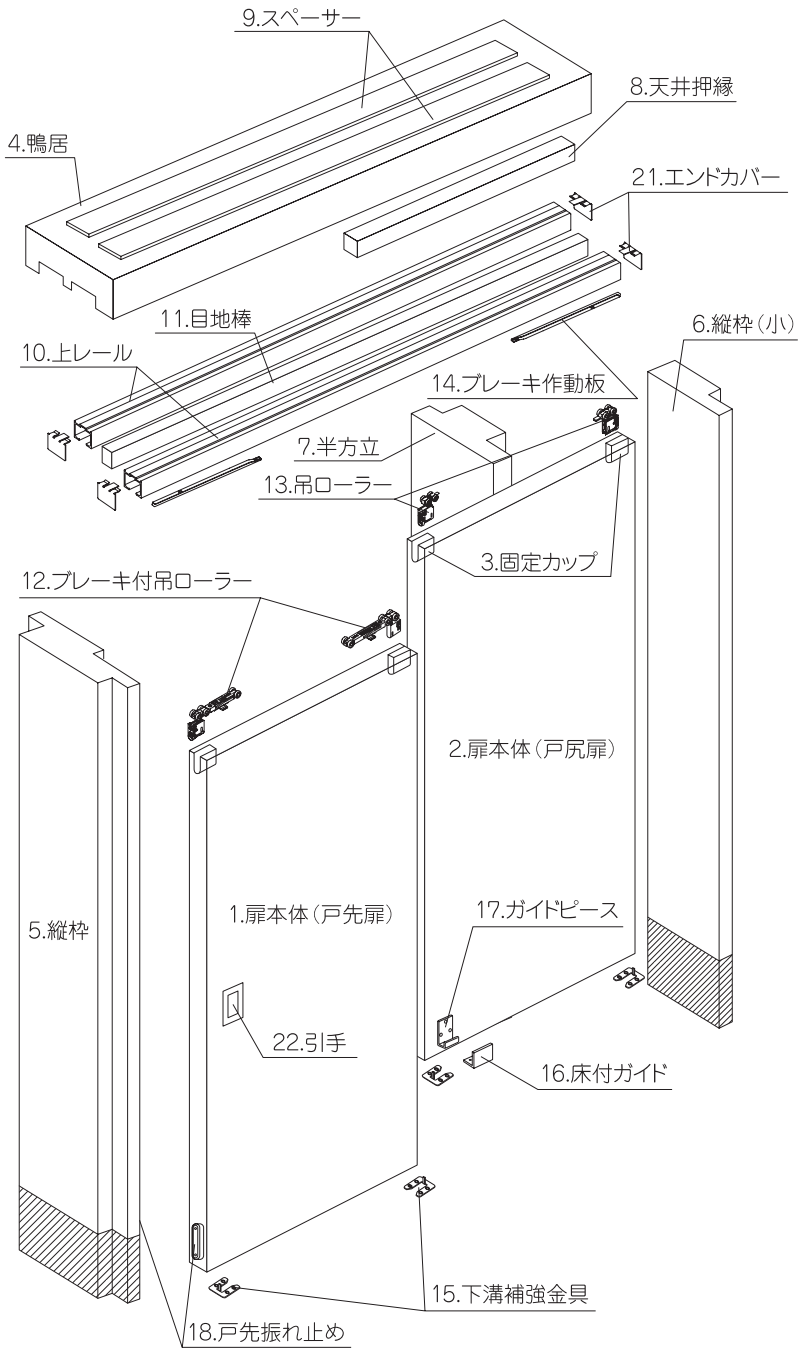
●施工後は、キズや汚れを防ぐために、ダンボール等で養生してください。

●扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。

⚠注意 本編中にもこの表示がいくつか記載されていますが、これは『取扱を誤った場合に、使用者が傷害を負う危険及び物的損害の発生が想定される』ことを示します。

2 全体図

2枚引き込み戸



《扉》

番号	名称	数量
1	扉本体（戸先扉）	1
2	扉本体（戸尻扉）	1
3	固定カップ	4

《枠》

番号	名称	数量
4	鴨居	1
5	縦枠	1
6	縦枠（小）	1
7	半方立	1
8	天井押縁	1
9	スペーサー	4
10	上レール	2
11	目地棒	1
12	ブレーキ付吊ローラー	2
13	吊ローラー	2
14	ブレーキ作動板	2
15	下溝補強金具	4
16	床付ガイド	1
17	ガイドピース	1
18	戸先振れ止め	1
19	鴨居固定ねじφ5×70	5
20	上レール取付ねじφ3.5×50	18
21	エンドカバー	4

《引手》

番号	名称	数量
22	引手	1

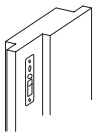
※フラットタイプのみ必要です。

《その他》

番号	名称	数量
23	ボルレッタ施工・取扱説明書（本紙）	1

※必ずお施主様にお渡しください。

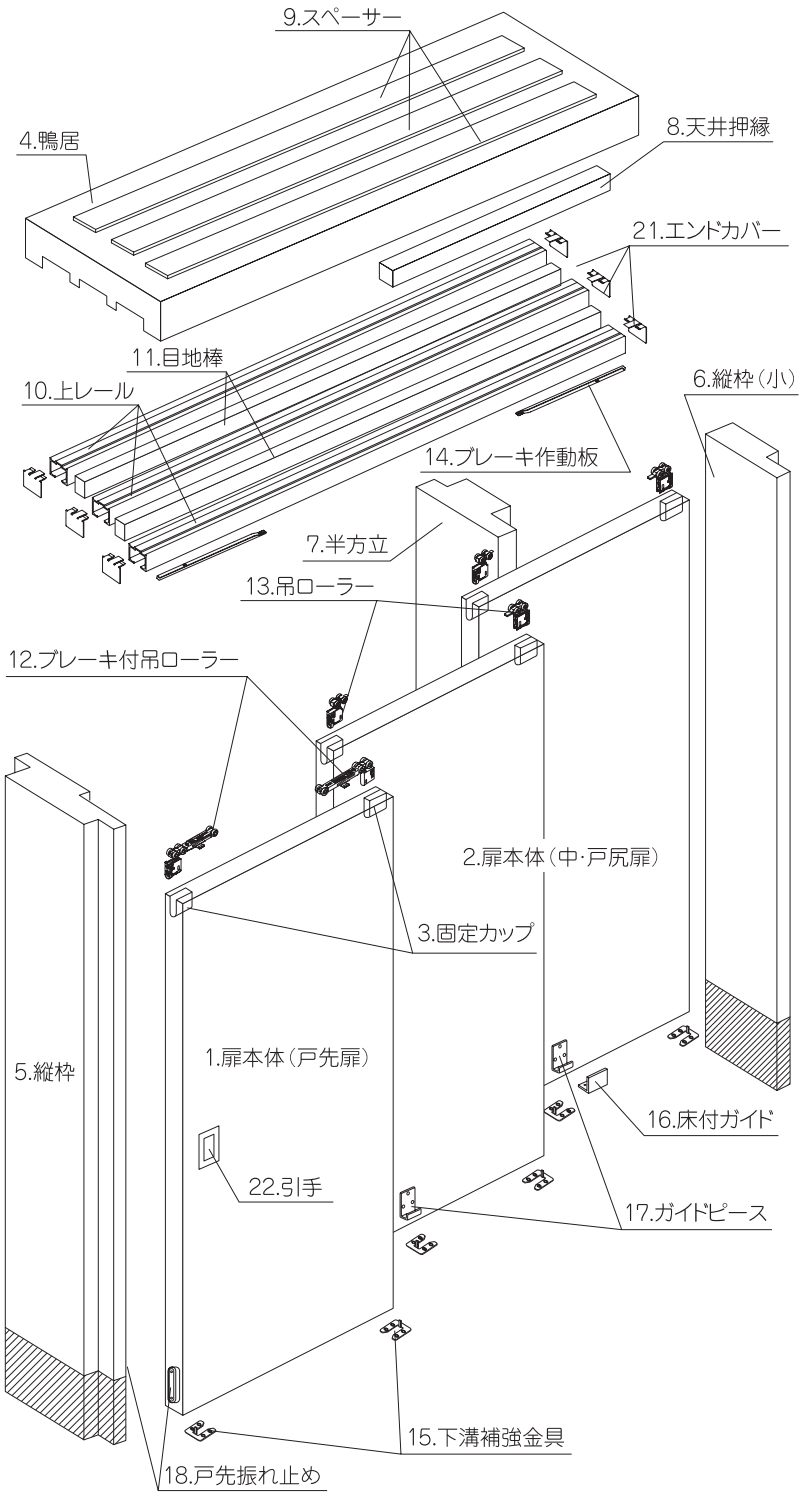
《表示錠》（オプション）

番号	名称	数量
24	カマ錠受け 	1

《梱包数》

①扉セット＋②枠セット＋③部品箱（フラットタイプのみ）
※沓摺・床見切を使われる場合は別途現場にて手配してください。

3枚引き込み戸



《扉》

番号	名称	数量
1	扉本体(戸先扉)	1
2	扉本体(中・戸尻扉)	2
3	固定カップ	6

《枠》

番号	名称	数量
4	鴨居	1
5	縦枠	1
6	縦枠(小)	1
7	半方立	1
8	天井押縁	1
9	スペーサー	6
10	上レール	3
11	目地棒	4
12	ブレーキ付吊ローラー	2
13	吊ローラー	4
14	ブレーキ作動板	2
15	下溝補強金具	6
16	床付ガイド	1
17	ガイドピース	2
18	戸先振れ止め	1
19	鴨居固定ねじφ5×70	7
20	上レール取付ねじφ3.5×50	36
21	エンドカバー	6

《引手》

番号	名称	数量
22	引手	1

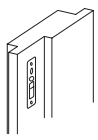
※フラットタイプのみ必要です。

《その他》

番号	名称	数量
23	ポルレッタ施工・取扱説明書(本紙)	1

※必ずお施主様にお渡しください。

《表示錠》(オプション)

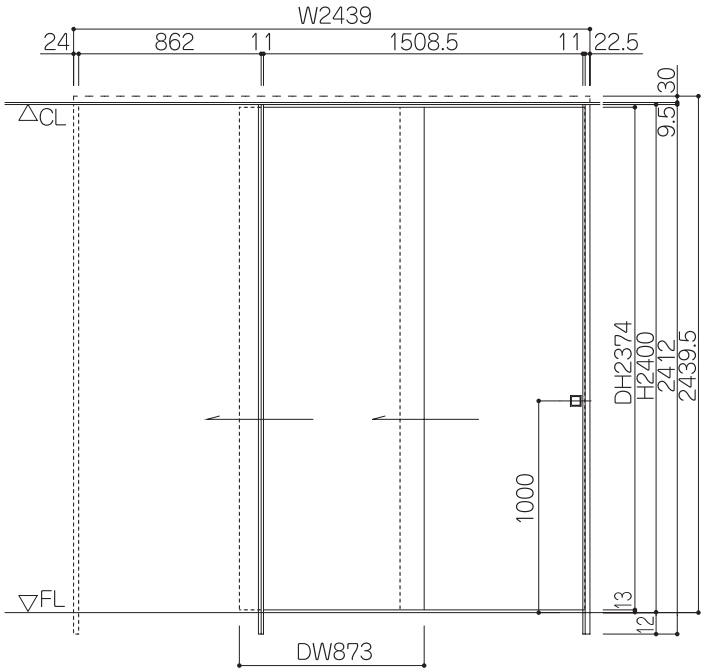
番号	名称	数量
24	カマ錠受け 	1

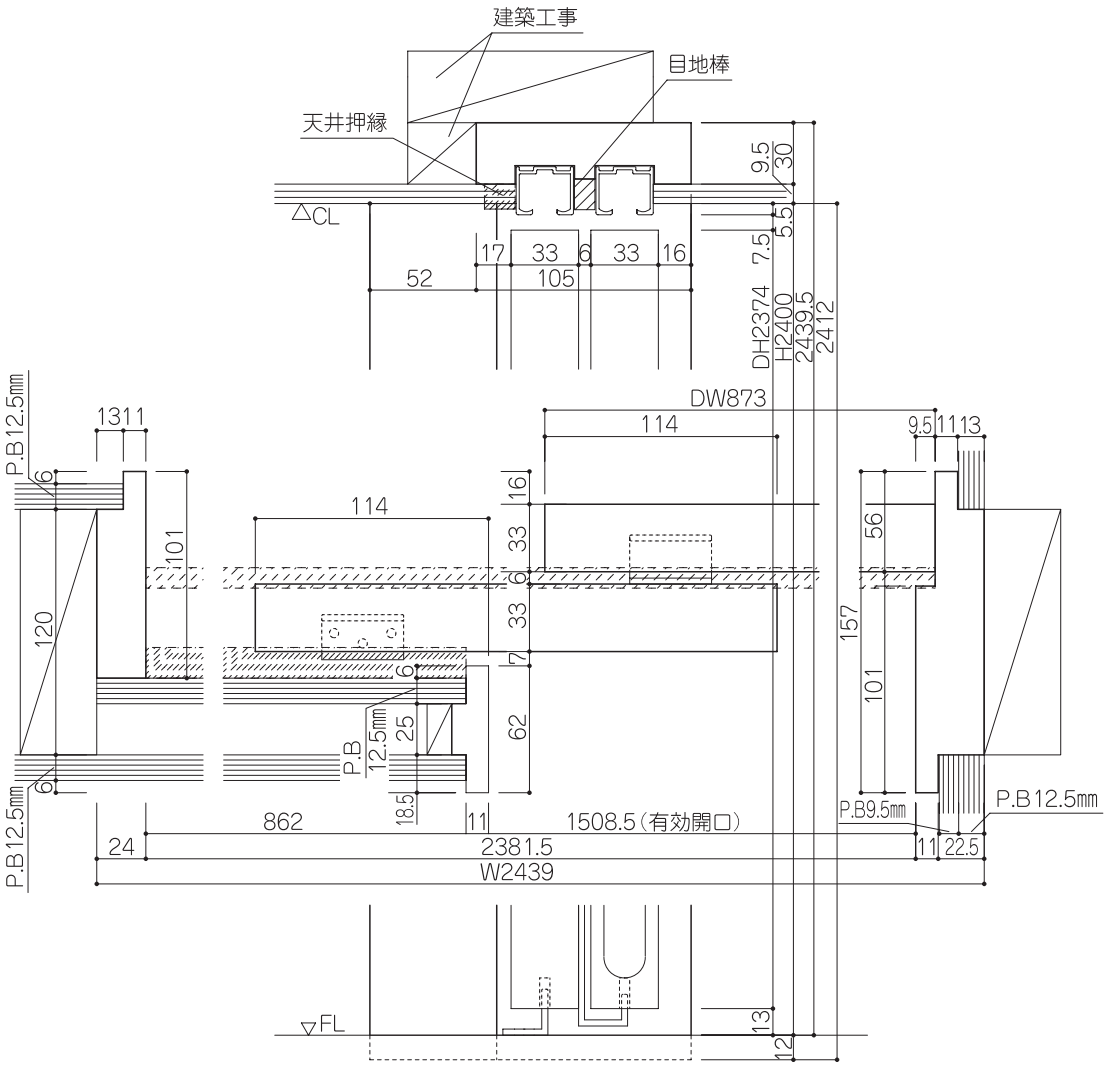
《梱包数》

①扉セット十②枠セット十③部品箱(フラットタイプのみ)
※沓摺・床見切を使われる場合は別途現場にて手配してください。

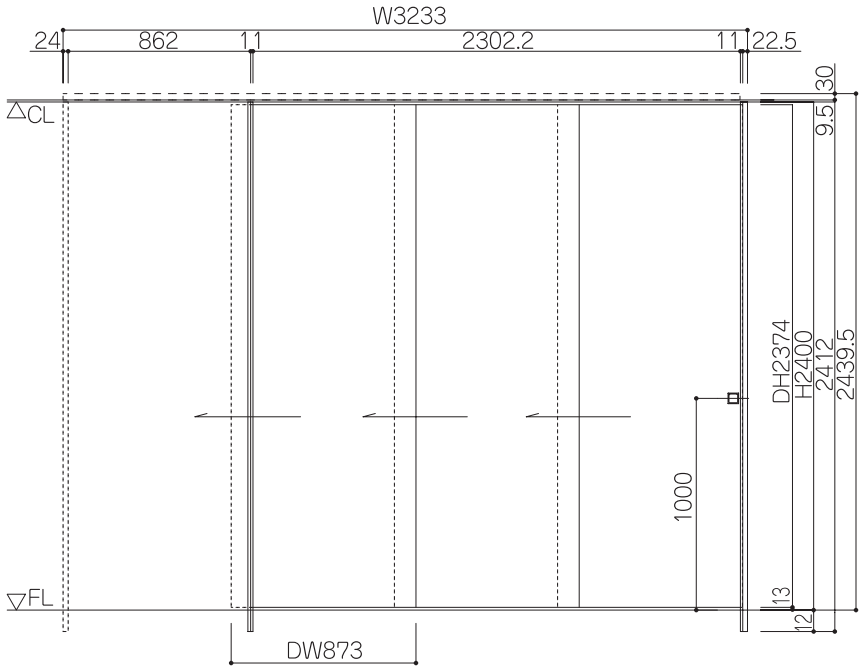
3 納まり図

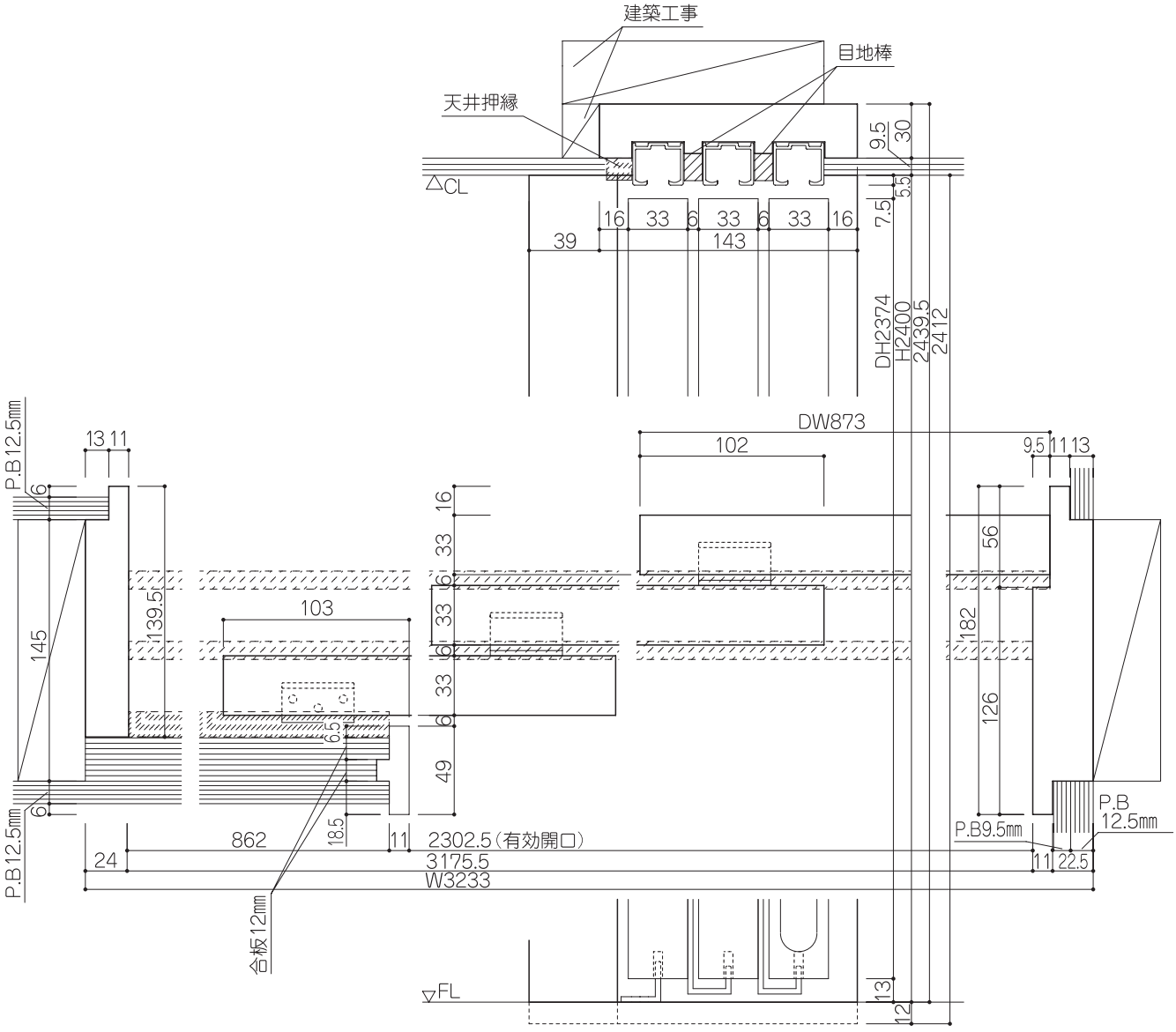
2枚引き込み戸





3枚引き込み戸


W3233
24
862
11
2302.2
11
22.5
30
9.5
△CL
▽FL
DH2374
H2400
2412
2439.5
1000
13
12
DW873

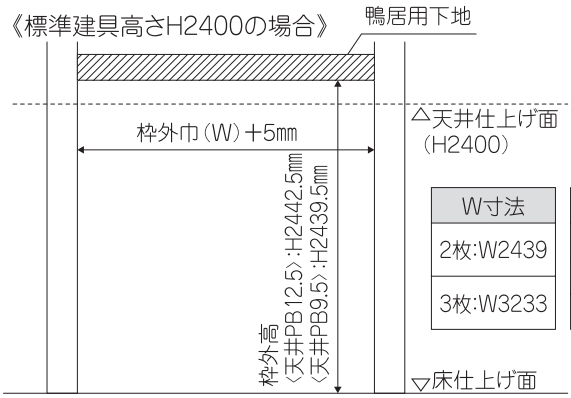

建築工事
目地棒
天井押縁
9.5
30
△CL
5.5
7.5
16
33
6
33
6
33
16
39
143
DH2374
H2400
2439.5
2412
DW873
102
9.5
11
13
P.B12.5㎜
13
11
6
16
33
6
33
6
33
6
49
6.5
56
182
126
139.5
145
103
18.5
862
11
2302.5（有効開口）
24
3175.5
W3233
P.B9.5㎜
P.B
12.5㎜
11
22.5
合板12㎜
▽FL
13
12

4 開口部の確認

右記の枠外寸法（枠外巾･枠外高）を
参考に間口を設定してください。

※本製品の鴨居は天井内に取り付けとなります。天井ボードの施工前に鴨居を下地に取り付けてください。

※枠は標準H＋12㎜となります。
床おさめに応じて現場にて下端
をカットしてください。

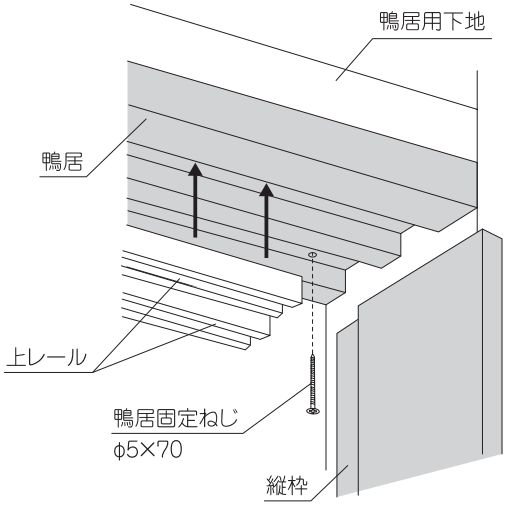


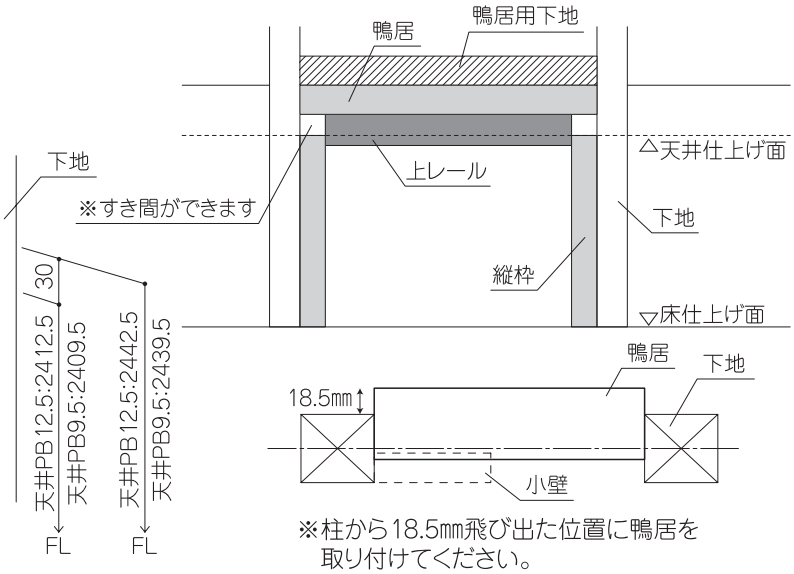
W寸法
2枚:W2439
3枚:W3233

H寸法
特注H1800～2399
H2400
特注H2401～2600

5 鴨居の固定

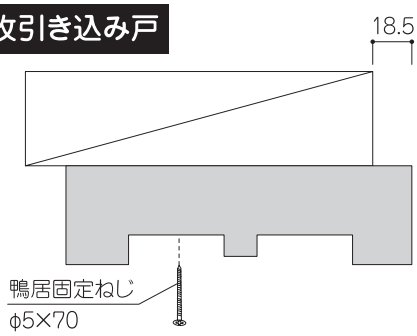
鴨居を鴨居固定ねじで下地に固定してください。



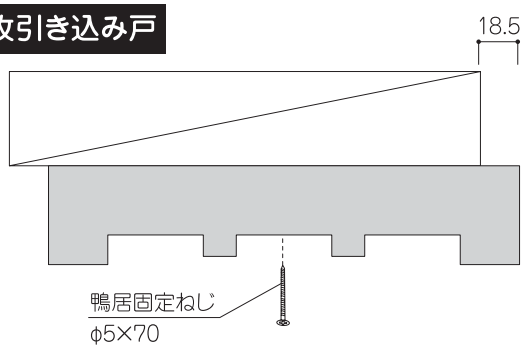


※柱から18.5㎜飛び出た位置に鴨居を
取り付けてください。

2枚引き込み戸

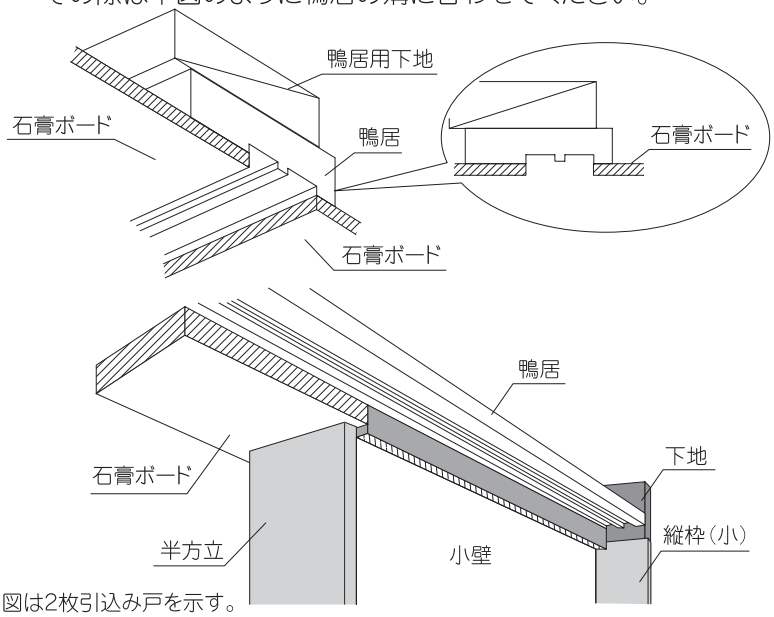


3枚引き込み戸

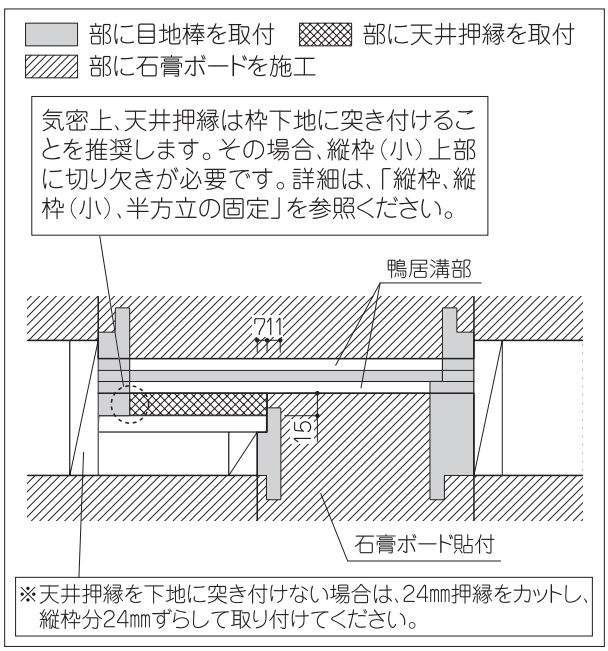


6 石膏ボードの施工（天井面）、天井押縁の取付

①天井面に石膏ボードを施工してください。
その際は下図のように鴨居の溝に合わせてください。

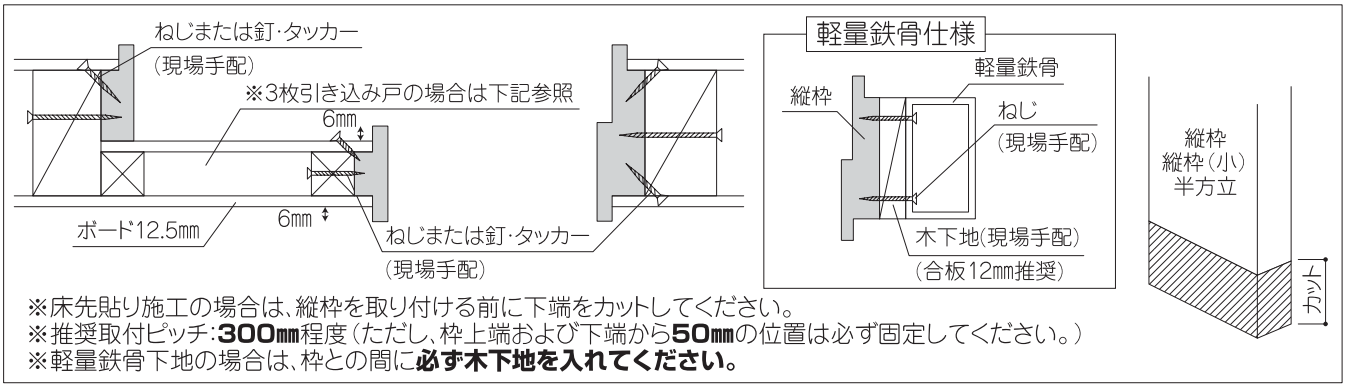


※図は2枚引込み戸を示す。



7 縦枠、縦枠（小）、半方立の固定

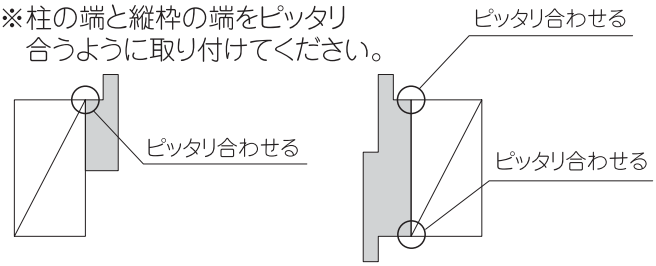
縦枠、縦枠（小）、半方立を下地からねじまたは釘・タッカー（現場手配）で固定してください。



※床先貼り施工の場合は、縦枠を取り付ける前に下端をカットしてください。
※推奨取付ピッチ：**300mm**程度（ただし、枠上端および下端から**50mm**の位置は必ず固定してください。）
※軽量鉄骨下地の場合は、枠との間に**必ず木下地を入れてください。**

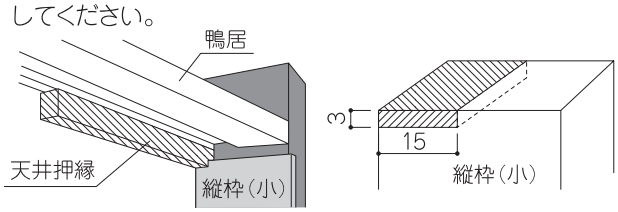
縦枠

※柱の端と縦枠の端をピッタリ合うように取り付けてください。



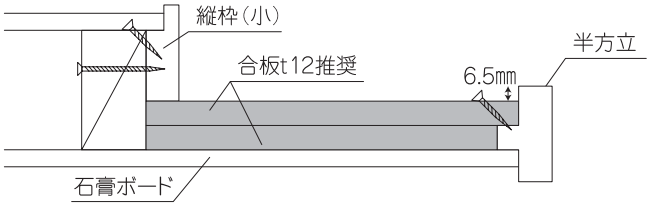
縦枠（小）の切り欠き（天井仕上げ9.5mmの場合）

（押縁を枠下地に突き付けていた場合）
のび寸のカット後に、縦枠（小）上部を下記寸法で切り欠きしてください。



■3枚引き込み戸小壁の施工

合板（現場手配）と鴨居・半方立をねじまたは釘・タッカー（現場手配）で固定してください。

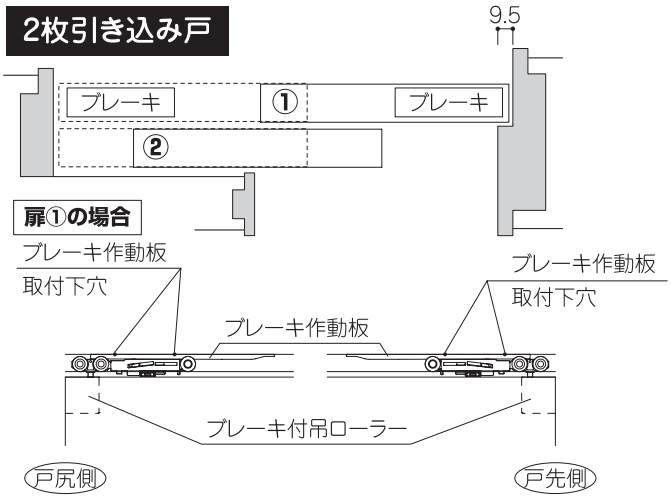


8 吊ローラーの挿入

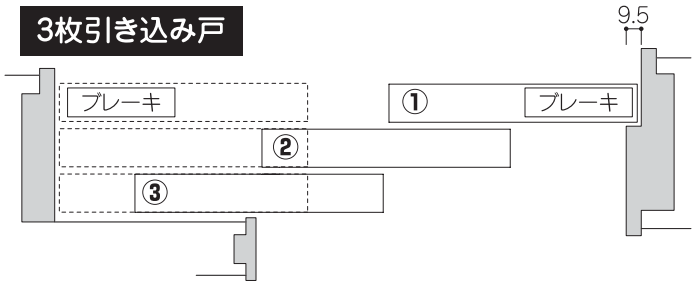
※扉ごとに取り付け部品が異なります。
同梱部品をご確認の上、取り付けてください。

下図を参照して吊ローラーを上レールへ挿入してください。
※扉②・③を吊り込む上レールは吊ローラーを挿入前に、9.5mmカットしてください。

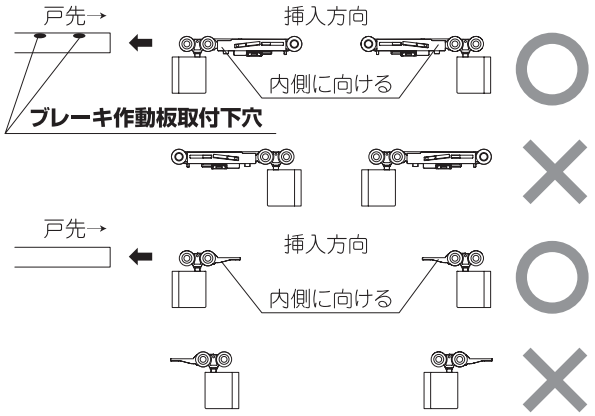
2枚引き込み戸



3枚引き込み戸



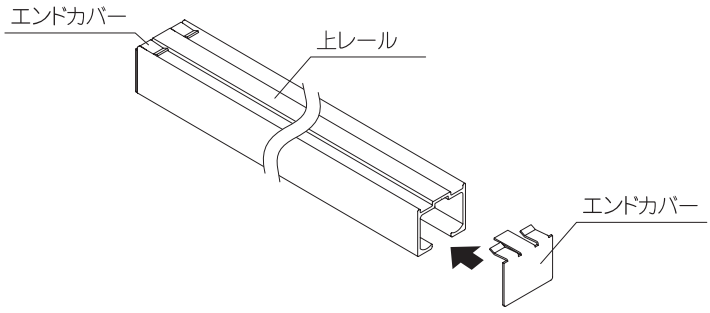
●吊ローラーの挿入



ポイント ブレーキ付吊ローラーは、ブレーキ作動板取付用下穴が付いている上レールへ挿入してください。

9 エンドカバーの挿入

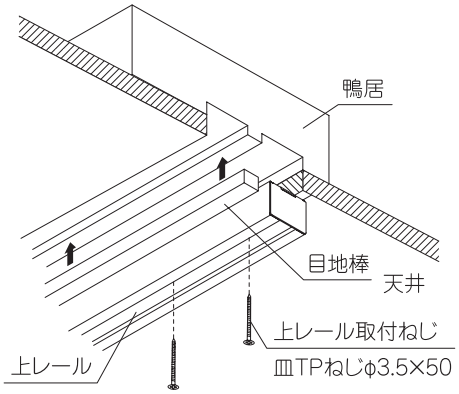
上レール両端部にエンドカバーを
差し込んでください。



10 上レールおよび目地棒の取付

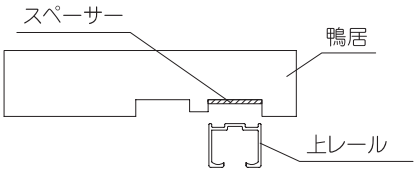
①鴨居の溝に上レールをはめ込みレール取付ねじで固定してください。
※吊ローラーはレールに挿入したまま取り付けます。

②上レールを取り付け後、レールとレールの隙間に目地棒を取り付けてください。取り付けには、接着剤（現場調達）とピンタッカー（現場調達）を使用してください。
※目地棒は取り付ける前に、必要サイズにカットしてください。



ポイント

天井面の石膏ボードが12.5㎜の場合

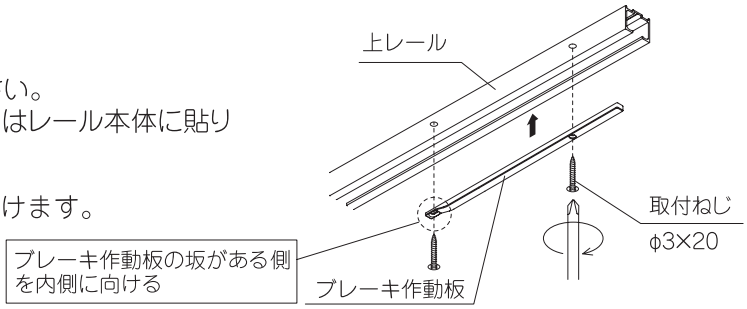


上レール取り付け前に、同梱のスペーサーを取り付けてください。
※スペーサーはレールの長さに合わせカットして使用してください。

11 ブレーキ作動板の取付

・ブレーキ作動板は戸先・戸尻方向に取り付けてください。
・ブレーキ作動板の取付位置（どの穴に取り付けるか）はレール本体に貼り付けられているシールを参照ください。

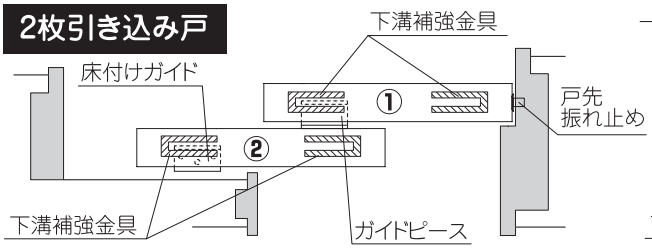
レール穴に、ブレーキ作動板の穴を合わせて取り付けます。



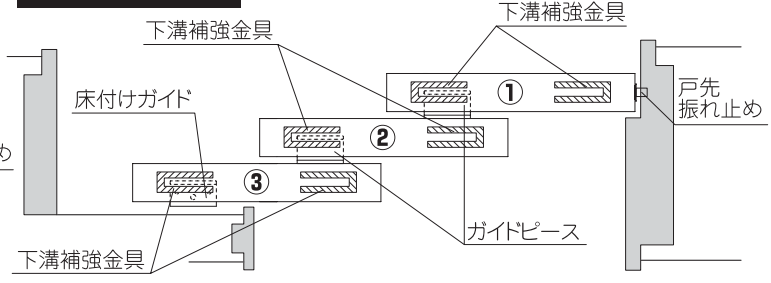
12 扉部品の取付

扉部品の取付位置

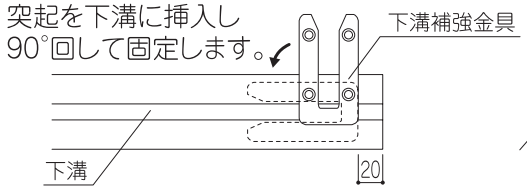
2枚引き込み戸

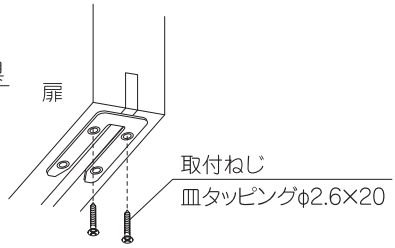


3枚引き込み戸



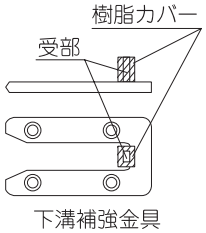
扉本体の下溝に下溝補強金具を取付



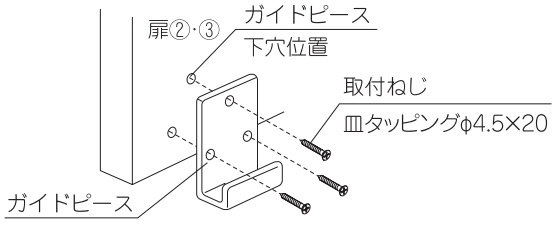


⚠注意

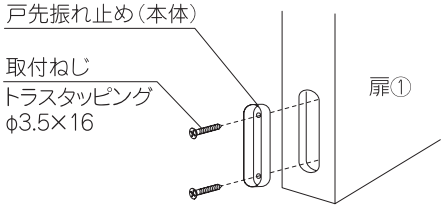
ガイドピースが当たる受部には衝撃を和らげる樹脂カバーがかぶせてあります。**絶対に取り外さないでください。**



扉本体にガイドピースを取付

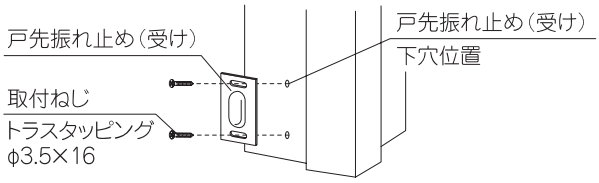


扉本体に戸先振れ止め（本体）を取付



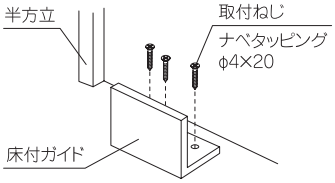
13 枠部品の取付

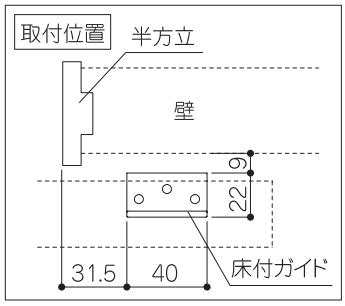
・縦枠に戸先振れ止め（受け）を取り付けてください。



14 床付ガイドの取付

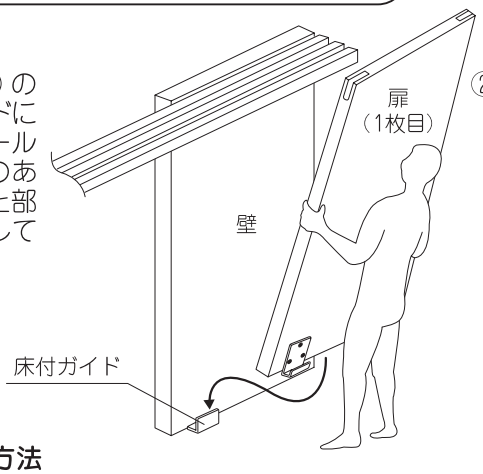
床に床付ガイドを取り付けてください。
取付位置は右図を参照ください。



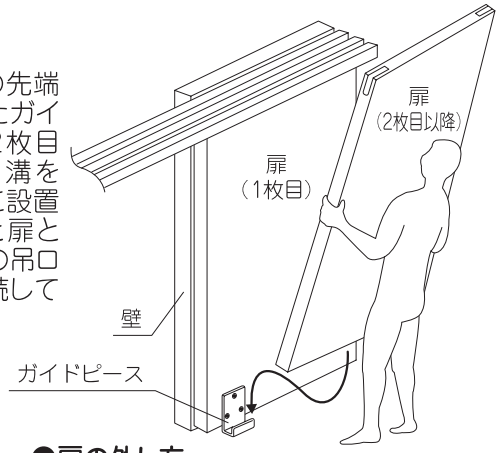


15 扉の吊り込み

①1枚目の扉（壁側）の下部溝を床付ガイドに被せるように上レールの下に設置し、そのあと扉とレール内の上部吊ローラーを接続してください。



②1枚目の扉の先端に取り付けたガイドピースに2枚目の扉の下部溝を被せるように設置し、そのあと扉と上レール内の吊ローラーを接続してください。

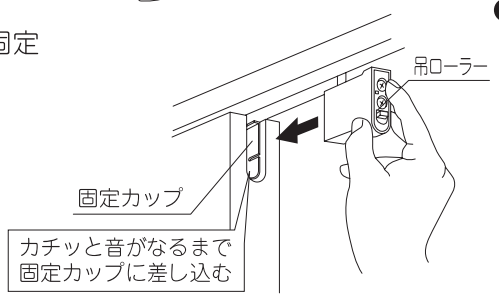


●吊ローラーの接続方法

吊ローラーのホルダー部を扉の固定カップに差し込んでください。

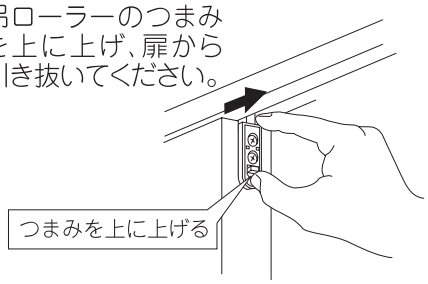
⚠注意

吊ローラーが、扉端部から飛び出していないことを確認してください。
固定が不十分の場合、吊ローラーが外れて、引き戸が転倒するおそれがあります。



●扉の外し方

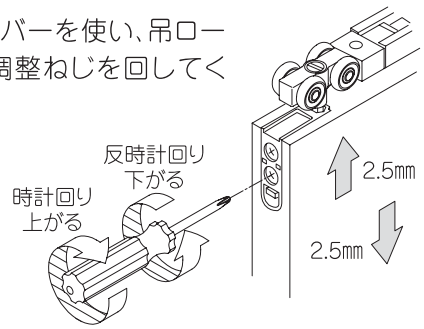
吊ローラーのつまみを上に上げ、扉から引き抜いてください。



16 扉の建て付け調整

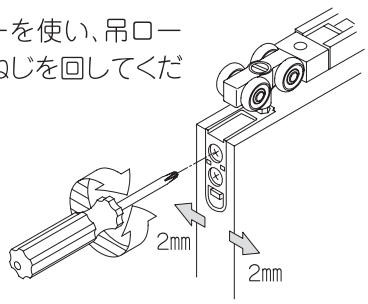
上下調整

●手回しドライバーを使い、吊ローラーの上下調整ねじを回してください。



左右調整

●手回しドライバーを使い、吊ローラーの左右調整ねじを回してください。

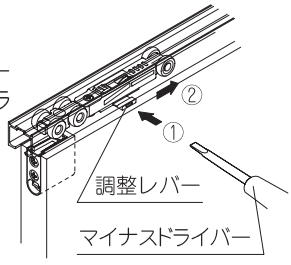


⚠注意 調整を行う場合、電動ドライバーは使用しないでください。部品破損の原因となります。

17 ブレーキ付吊ローラーの強弱調整

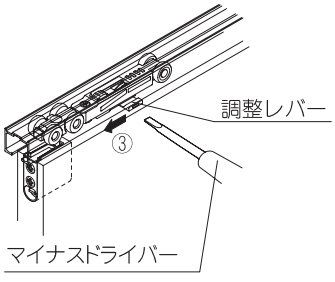
●ブレーキ力を強くする場合

マイナスドライバーで、調整レバーの溝を押しながら②の方向へスライドさせてください。



●ブレーキ力を弱くする場合

マイナスドライバーを、調整レバーの溝に差し込み③の方向へスライドさせてください。



ポルレッタ　2枚引き込み戸／3枚引き込み戸

sanwa company

取扱説明書
（お施主様保管用）

■お施主様に必ずお渡しください。

このたびは「ポルレッタ　2枚引き込み戸／3枚引き込み戸」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
■ご使用前にこの説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
　特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。
■お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取扱いについて次のように警告表示をしています。
誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

表示方法	内　　容
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いを行なうと、使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

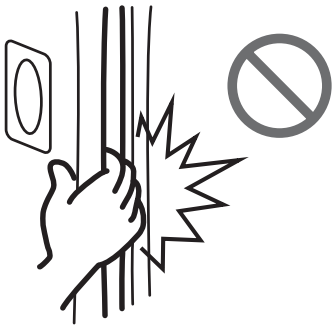
⃠	「してはいけない」を示します。
❗	「必ず行っていただくこと」を示します。

（※1）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。
（※2）物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさす。

⚠注意

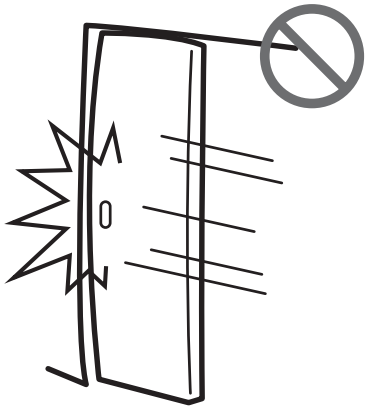
●扉の開閉にあたっては、必ず引手に手をかけて操作してください。

扉の先端に手をかけると、扉と扉もしくは、扉と枠の間に手をはさみ、ケガをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。



●扉の開閉は、静かに行ってください。

乱暴に扱うと扉が破損したり、脱落して、ケガをするおそれがあります。



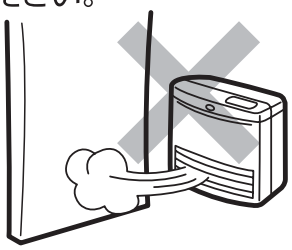
●扉にぶつかったり、もたれたりしないでください。

扉が破損したり、脱落して、ケガをするおそれがあります。

ご使用上のお願い

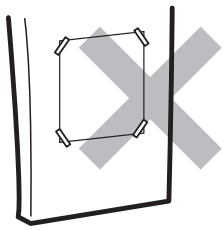
●暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。

扉にそりや、変形、変色が発生して故障の原因となります。



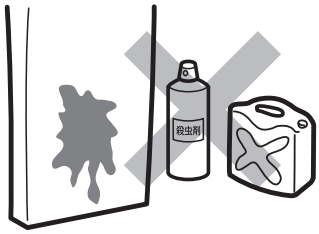
●扉に粘着テープや両面テープでポスターなどを貼らないでください。

テープをはがす時に、表面が傷ついたり、シートはがれが発生するおそれがあります。



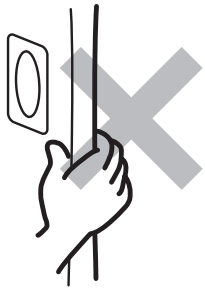
●本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。

表面がふくれたり、しみ、変色などが発生するおそれがあります。



●扉の開閉は引手に手をかけて行ってください。

扉に手をかけて、開閉を繰り返しますと、シートはがれ、汚れ、変色の原因となります。



●木材建具の反りについて

木質を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた木質建具は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、木質建具の周辺の温度や湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に木製建具の室内面と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、『反り』という現象が発生することがあります。

●『反り』の発生の抑えかた

ご使用の環境や設置場所によって『反り』の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

1. エアコン、暖房などをご使用の際は、木製建具に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
2. 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房などにより、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
3. 木製建具に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれなどを設けて日光を遮ってください。

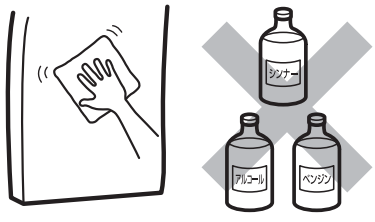
発生した『反り』は室内側と室外側の環境条件を近づけることによって、小さくなることがあります。

お手入れのしかた

●日頃のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

●汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、かたく絞ってから拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ります。

※シンナー、ベンジン、アルコール、ワックス、化学雑巾は使用しないでください。変色、変質するおそれがあります。



アフターサービス

保 証 書

品　　名	ポルレッタ	
保証期間	お買上げ日から　1年	
お買上げ日	年　　月　　日	左枠内は、お客様でご記入をお願い致します。 （サービスを依頼される際にお役に立ちます）
お客様	お名前 ご住所 お電話番号	
工事店	店　名 電話番号	
保証内容	1．正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には無償にて修理、または部品送付いたします。 2．保証期間内でも次の場合は有償扱いになります。 ア）使用上の誤り及び不当な修理や設置による故障及び損傷。 イ）正しい使用方法をお守りいただけなかった場合の故障及び損傷。 ウ）弊社以外の組立設置における、組立設置時の不注意または過失による故障及び損傷。 エ）弊社以外の組立設置における、組立設置資料通りに取付を行わなかった場合や、分解・改造などに起因する不具合。 オ）設置床面の凹凸に起因する不良や、それに伴うメンテナンス作業（扉の丁番調整等）。 カ）本来の目的以外の用途や一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用した場合の故障。 キ）お買い上げ後の取付場所の移動による故障及び損傷。 ク）天災地変等不可抗力による故障及び損傷。 ケ）消耗部品（パッキン・戸当たり、戸車等）の劣化に伴う故障及び損傷。 コ）建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げの色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の不具合。 サ）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境、公害に起因する不具合。 シ）汚れやメッキ部品の錆、カビ等、通常のお手入れ不足による不具合。 ス）犬、猫、鼠、鳥などの小動物に起因する不具合や、キクイムシなどの虫に起因する不具合。 セ）材料の性質上生じるもの。（木・石などの自然素材を使用したもの、または自然の風合いを狙った製品の微妙な色目や表面状態のばらつきなど） ソ）タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤、強酸・強アルカリ等）の使用により発生した損傷。 タ）建物完成後、入居までの間に管理などの不備により生じたもの。 チ）仕上げキズ等で引き渡し時にお申し出がなかったもの。 ツ）保証書の提示が無い場合。 テ）保証書にご購入者様情報、お買上げ年月日など必要事項の記入の無い場合、あるいは字句の書き替えられた場合。 ト）離島又は離島に準じる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費。 3．本書は日本国内にて有効です。 4．本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保存して下さい。	

廃棄処分について　廃棄の処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

●●● sanwacompany

株式会社サンワカンパニー / SANWA COMPANY LTD.

●お客様相談センター　受付時間：土・日・祝日、夏期休業、年末年始を除く　9：00〜17：30　TEL：0120-468-838　FAX：0120-382-096